



twelve persons

愛媛の現代工芸作家 12人展

2007.6.2.sat.~7.1.sun.

休館日／月・火曜日

開館時間／午前9:30~午後5:00(入館は午後4:45まで)

入場料／一般500円、学生400円、未就学児無料

主催／ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

共催／株式会社ミウラ

後援／愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、
南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、
愛媛CATV、FM愛媛

MIURART VILLAGE
MIURART

愛媛の現代工芸作家12人展

今回、「愛媛の現代工芸作家10人展」を思い立ち、(社)現代工芸美術家協会愛媛支部の責任者である、龍泉窯の池田さん等に提案させていただいたのですが、二つ返事で実現の運びとなりました。

それは、今年の9月に全国の現代工芸美術展を、ミウラート・ヴィレツジで開催させていただくことになったきっかけとその後の話し合いの中から、愛媛における現代工芸に対する危機感と共に、将来への夢のような熱いものが幹部の方々から感じられ、そのお役に立てられるのであればとの想いからの提案でありました。話が進むにつれて、10人展は12人展になりました。更に増えてくれることは望むところであります。

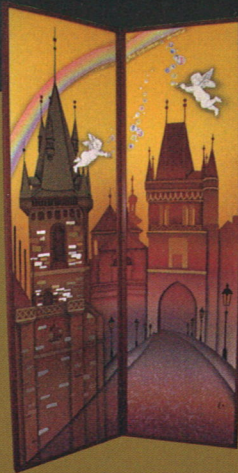
ところで私たちはややもすると、芸術の価値を、過去からの贈り物のように考えたり、自分の日常生活と離れたものと見てはいないでしょうか。確かにいつの時代においても、新たな批評と共に紹介される、古い時代の芸術作品に、興味を示す私たちのような美術品鑑賞者はいたでしょうし、それと共に、先輩作家たちと彼らが手がけた作品からの影響を受けなかった作家はいなかったでしょう。伝統の芸術の上に、その時代が要請するところの新たな感覚が加えられたり、また削られることから生まれるのが「現代」と言われる作品の位置付けだと考えます。言い換えれば、古くからの伝統的な芸術も、その当時、その時代の作家たちが、苦心しながらその時代にしか造れなかった作品を世に送り出してきたと言うことでしょう。

その意味で、今展は愛媛の現代工芸作家12人が、苦心しながら制作した「現代」の作品たちをご覧いただける機会ともいえます。

この展示会を、出展作家の皆様の相互の啓発と、ご自身の新たな創作のきっかけにいただければと、心から期待いたしております。そしてご覧いただく皆様には、芸術が、より身近なところで生み出されているものであることを、実感していただける良い機会となれば幸いです。

館長 白石 省三

①



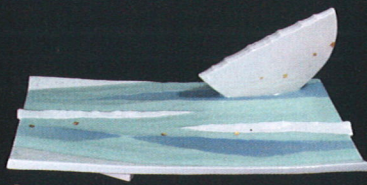
②



③



⑤



⑦



④



⑥



⑧



⑫



⑪



⑩



⑨



- ① 永廣武都子 ブラハ幻想
- ② 永田公道 朝の月
- ③ 中村在徹 遥かなる日
- ④ 山村 隆 遥
- ⑤ 和田 毅 入江にて
- ⑥ 山田公夫 白磁壺

- ⑦ 山田雅之 白磁皿
- ⑧ 岡田 威 呉須象嵌花器
- ⑨ 滝本 修 春宵一刻
- ⑩ 芥川正明 波紋
- ⑪ 池田富士夫 光の中で
- ⑫ 森元数茂 悠遠の嶺

展覧会予告

川島猛展

2007年7月15日(日)~9月2日(日)

第46回日本現代工芸美術展

2007年9月15日(土)~10月5日(金)



駐車場: 30台 臨時駐車場(三浦工業(株)福角駐車場)がご利用になれます。
※ 駐車台数に限りがございますので、なるべく公共の交通機関等をご利用ください。

場 所: ◆ JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ
伊予鉄バス 北条行き「内宮バス停」下車 徒歩約10分
◆ 松山空港より車で約30分

MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレツジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1

TEL 089-978-6838・FAX 089-978-0323

http://www.miuraz.co.jp/miurart fvb2360@mb.infoweb.ne.jp